

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型児童発達支援センターベース		
○保護者評価実施期間	7年 1月 7日	～	7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	7年 1月 7日	～	7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	7年 1月 7日	～	7年 1月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	7年 2月 11日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問先施設との協働体制がある	担当の先生の他、施設先の管理職や行政、教育委員会との連携を大切にしている。 フレームワークシートを活用し、共通理解や一貫した対応ができる様、取り組んでいる。	継続して取り組んでいく。
2	専門性・一貫性のある支援の実施	スタッフ研修の充実やチーム支援に必要な情報共有を重視している。 心理士や言語聴覚士などの専門職の意見を取り入れている。	継続してコンサルタントからの研修を受講していく。
3	通所サービスとの連携	訪問先での支援が困難な場合、通所事業所で本人に合った環境でアセスメントができたり、必要なスキルを教えることで訪問先での自立を促すことができる。	通所サービスを利用していない方へも事業所でのセッションの機会を設けていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援のニーズがあっても受け入れられる人数に限りがある。	すべてのニーズに対応するマンパワーを確保することは難しい。また、訪問支援を行う人材育成には時間がかかる。	直接お会いする機会がない保護者には個別支援計画による面談以外にも面談機会を設け、動画などでお子さんの様子をお伝えしていく。
2	訪問支援のニーズがあり、同じ市内であっても訪問できていない施設がある。	すべてのニーズに対応するマンパワーを確保することは難しい。また、訪問支援を行う人材育成には時間がかかる。	直接お会いする機会がない保護者には個別支援計画による面談以外にも面談機会を設け、動画などでお子さんの様子をお伝えしていく。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 多機能型児童発達支援センターベアす

公表日 7年 2月 11日

利用児童数 5

回収数 4

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	4				関わりやすい様に興味があることを事前に準備してもらっていると思います。	どのような教具教材を使っているか保護者様との面談時に説明をさせていただきます。	
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	1	2		1		学校に依頼し、空いている教室などプライバシーに配慮された環境で面談を実施していきたいと思ひます。	
	3 事業の目的が適切に説明されていると思ひますか。	4						
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	4						
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思ひますか。	2	1	1			今後、訪問員の人数を増やしてニーズに合わせて頻度で提供できるよう整備します。	
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思ひますか。	4				問題行動などあるとすぐアドバイスをくださり、感謝しています。	今後も保護者様と協力しながら、こどもの特性に応じた支援を提供できるようにしていきたいと思ひます。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思ひますか。	4						
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思ひますか。	2				2		
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思ひますか。	1				3	ガイドラインを見たことがない	ガイドラインの情報について保護者様に提供できるようにしていきたいと思ひます。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思ひますか。	4						
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思ひますか。	4						
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4						
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4						
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。					4	機会があれば参加したいです。	ご要望がありましたので、来年度はペアレントトレーニングの研修を計画致します。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思ひますか。	1	2			1		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4						
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思ひますか。	4						
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。			3		1		
19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思ひますか。	2	2						

	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	4				学校で突然でてきた課題について、先生が事業所へ相談されたようです。その際、助言をもらって課題解決できました、と私に連絡がありました。	
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	4					
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	2	2				
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。		2	1	1		保育所等訪問については発信してこなかった為、今後「ベーズ通信」などで情報発信を行っていきます。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	4					対象となる方には身体拘束等の考え方などの緊急時の対応について契約の際、説明させて頂いています。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4					
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	4					
	28	事業所の支援に満足していますか。	2	2				

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

7年

2月

11日

多機能型児童発達支援センターベース

利用児童数

訪問数3校

回収数3校

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	3			どういった場面で視覚支援が必要になるかよく分かり、取り入れていくことができた。	
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	3			療育で使っているスケジュールや課題などとても有効でした。	
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	3			いつもわかりやすく教えて下さいます。	
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	3			同じツールを準備して頂くことで、共通の支援に取り組みました。	
5	事業所からの支援に満足していますか。	3			様々な支援のおかげで児童が安定した生活を送ることができました。	
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<p>学校にも保護者にも丁寧に対応してくださり、大変助かっています。 第三者の視点で観察して感じたことを話して下さるので、新たな気づきになります。 学校と保護者の架け橋の役割もしてくださり助かります。</p>					<p>先生方とお話しさせて頂いたり、観察させて頂くことで、園や学校のことに気付かされ、児童発達支援や放課後等デイサービスで何をしていくことが必要であるかや発達支援についての気付きを頂くことが多いです。 今後も保護者様、訪問先施設の先生方や管理職の先生方、教育委員会や行政、ほかの福祉事業所と協働しながら、特性を抱える子ども達が少しでも過ごしやすいようスタッフ一同、資質向上に努めてまいります。</p>	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		多機能型児童発達支援センターベース				
		公表日 7年 2月 11日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・体制・整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	2		対象児に合わせて個別化して作成している。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。		2		ニーズに対して訪問員の数が不十分
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2			振り返りの時間をがあまりつれていない
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		保護者評価は今年度から実施している	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		2		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2			
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2		共通理解をすすめる為、フレームワークシートを活用している	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	1	1	不十分	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2			
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2		必要に応じ、心理士の訪問によるフォーマルなアセスメントを実施している	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。		2	不十分	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2			
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		2	打ち合わせやフィードバックは実施されないことがある		
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2				

	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2			
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2		相手先による	
関係機関や保護者との連携	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2		事業所の専門職（心理士、言語聴覚士）からの助言や同行を依頼している	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		2		
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2			
保護者等への説明等	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		2		
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		2		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2			
		37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2		

訪問先施設への説明等	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。		2	当日に連絡できないことが多い	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		2		
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2			